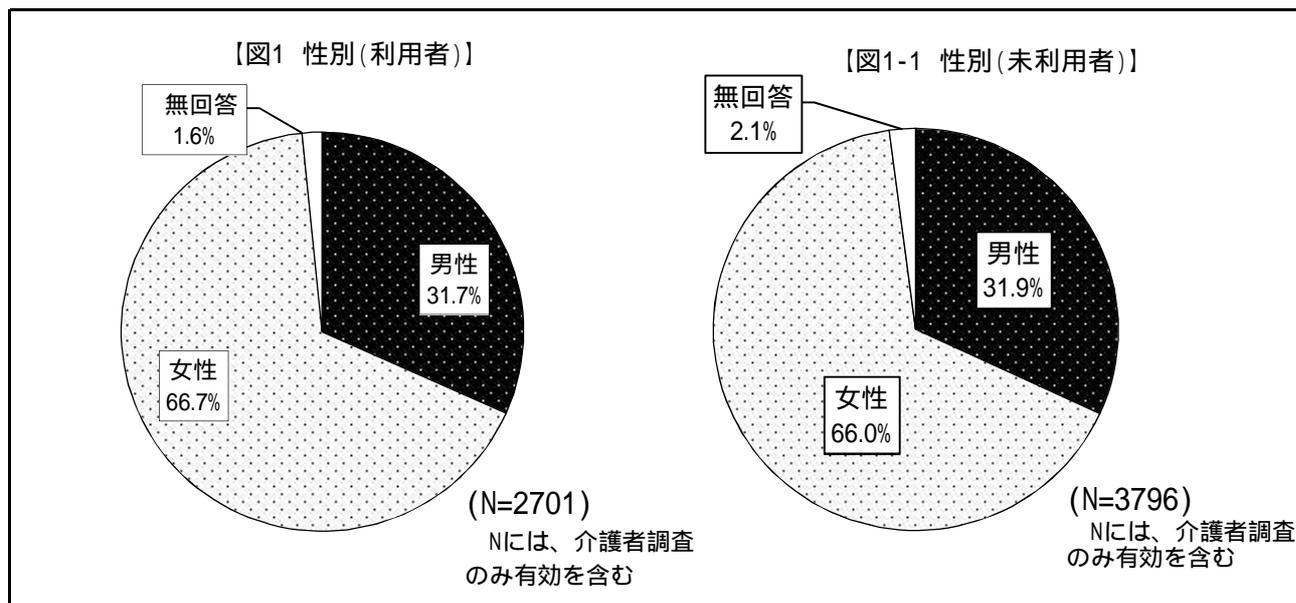


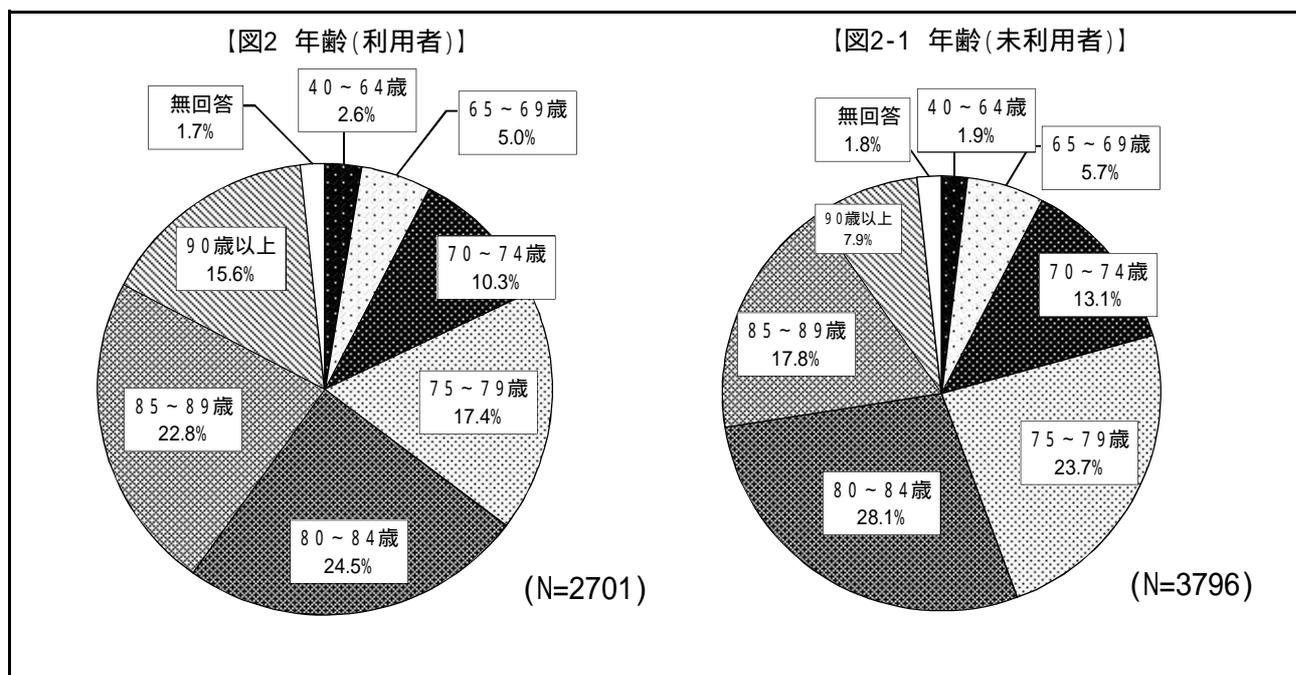
1. 調査対象者の性別



【図1、図1-1】

調査対象者の性別については、サービス利用者、サービス未利用者とも男女比がほぼ同率となっており、女性の回答割合が6割以上と多くなっている。

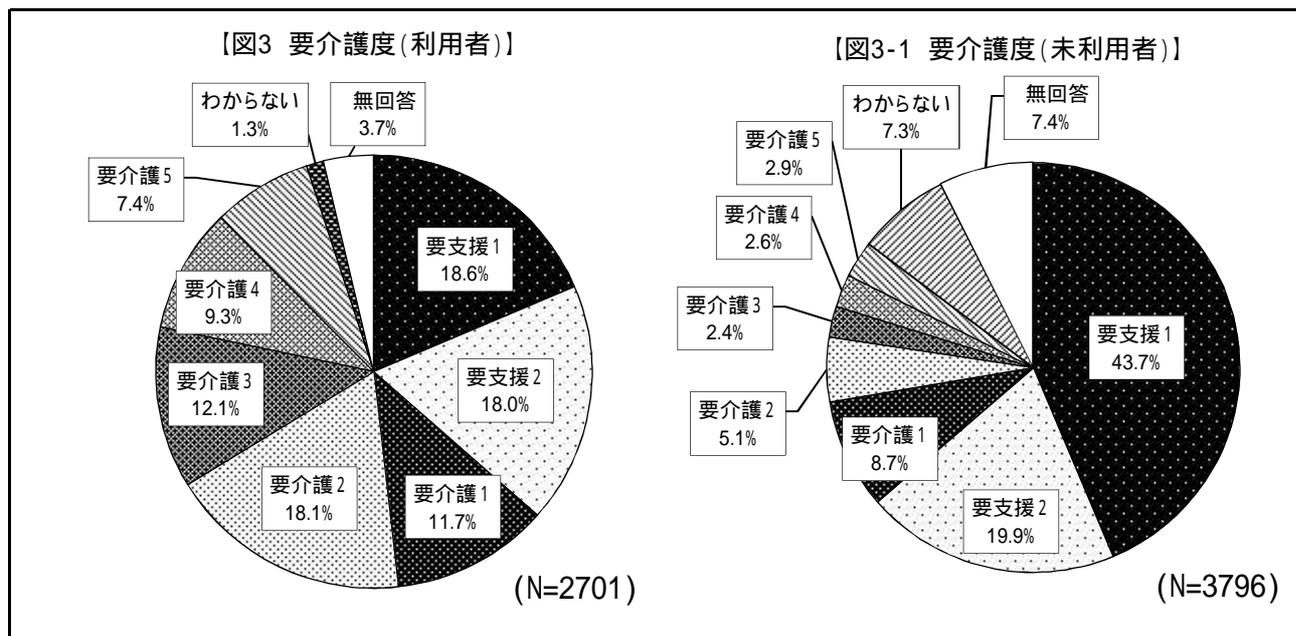
2. 調査対象者の年齢



【図2、図2-1】

調査対象者の年齢については、サービス利用者、サービス未利用者とも概ね同様の傾向となっているが、サービス利用者のほうが、後期高齢者の回答割合が多くなっている。

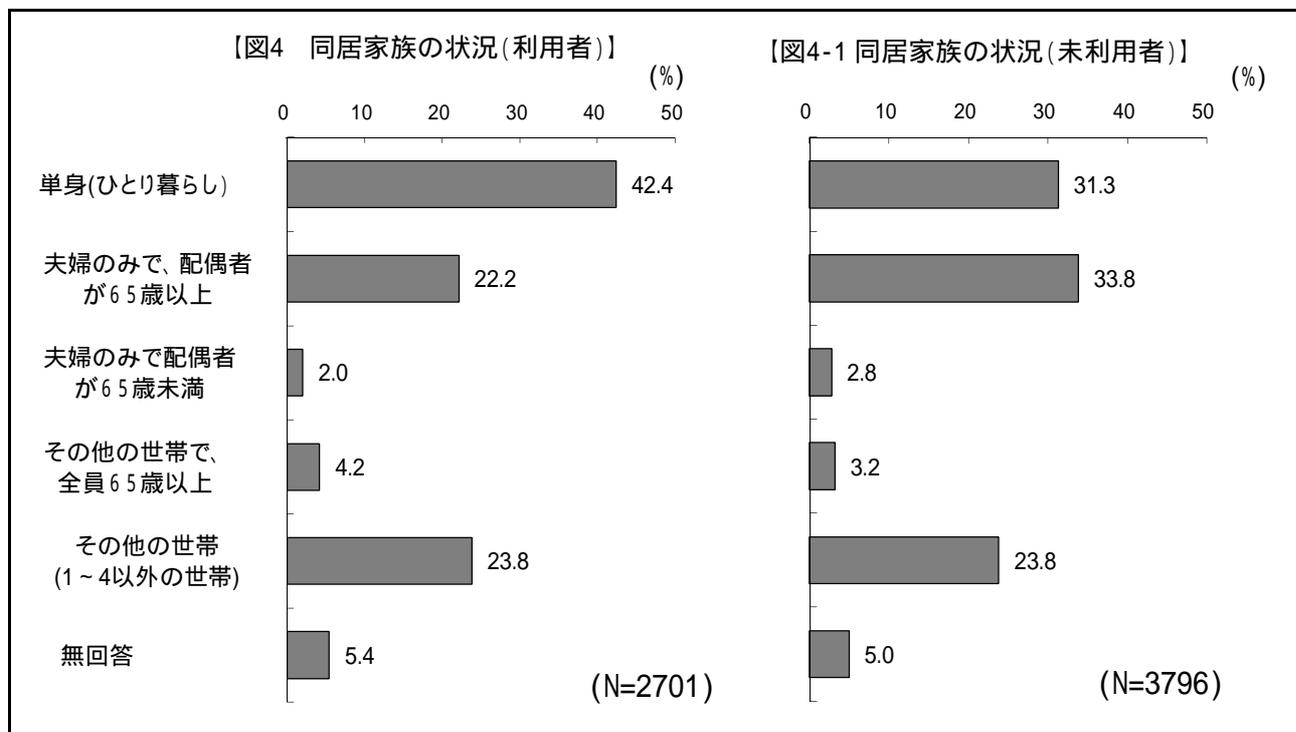
3. 調査対象者の要介護度



【図3、図3-1】

調査対象者の要介護度については、サービス利用者、サービス未利用者とも「要支援1」が最も多い。サービス利用者では、「要支援1」が18.6%、次いで「要介護2」が18.1%、「要支援2」が18.0%と、3位までがほぼ同率であるのに対し、サービス未利用者では「要支援1」が43.7%と4割以上を占め、次いで「要支援2」が19.9%、「要介護1」が8.7%となっている。

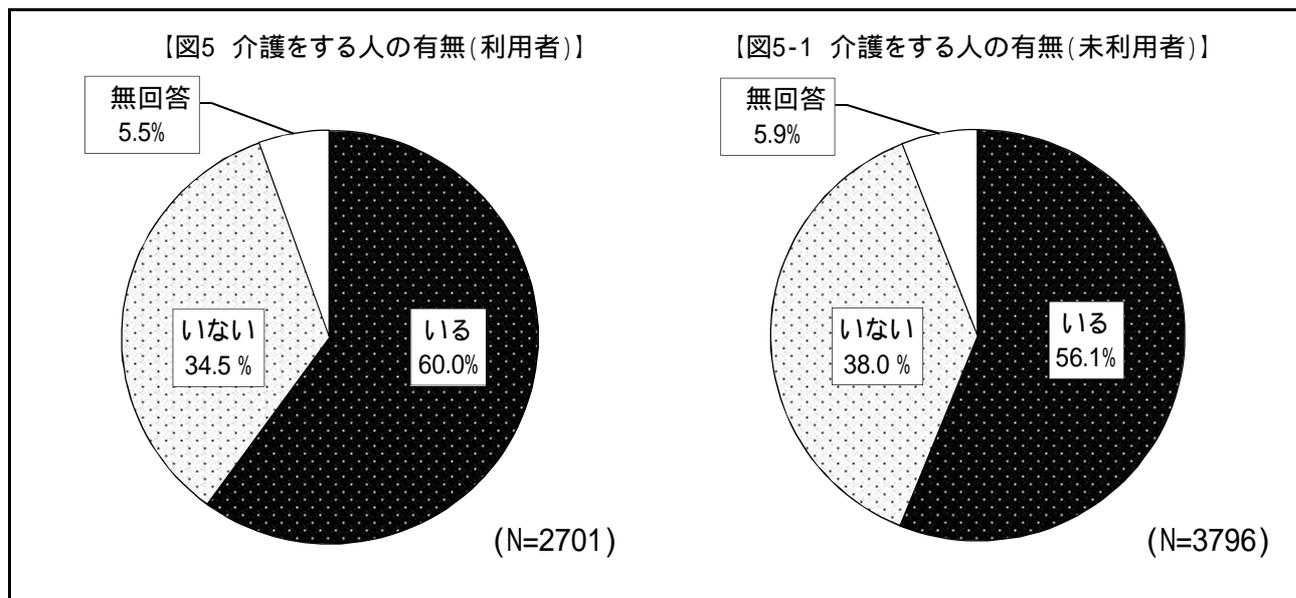
4. 世帯の状況



【図4、図4-1】

同居家族の状況については、サービス利用者では「単身(一人暮らし)」が42.4%と最も多くなっている。サービス未利用者では「夫婦のみで配偶者が65歳以上」が33.8%で最も多くなっている。

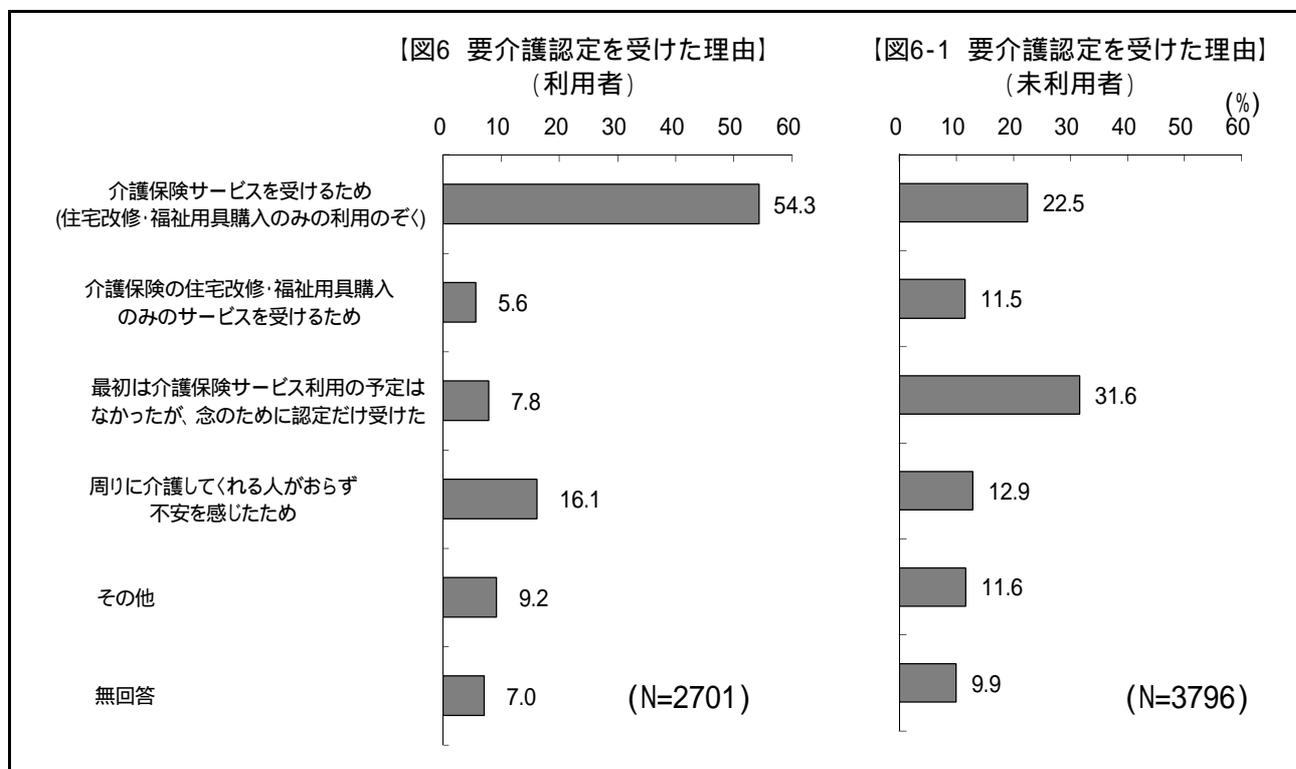
5. 介護者の有無



【図5、図5-1】

介護をする人の有無については、サービス利用者、サービス未利用者とも「いる」が最も多く、それぞれ、60%、56.1%となっている。一方、介護者がいないと回答された方も3割以上となっている。

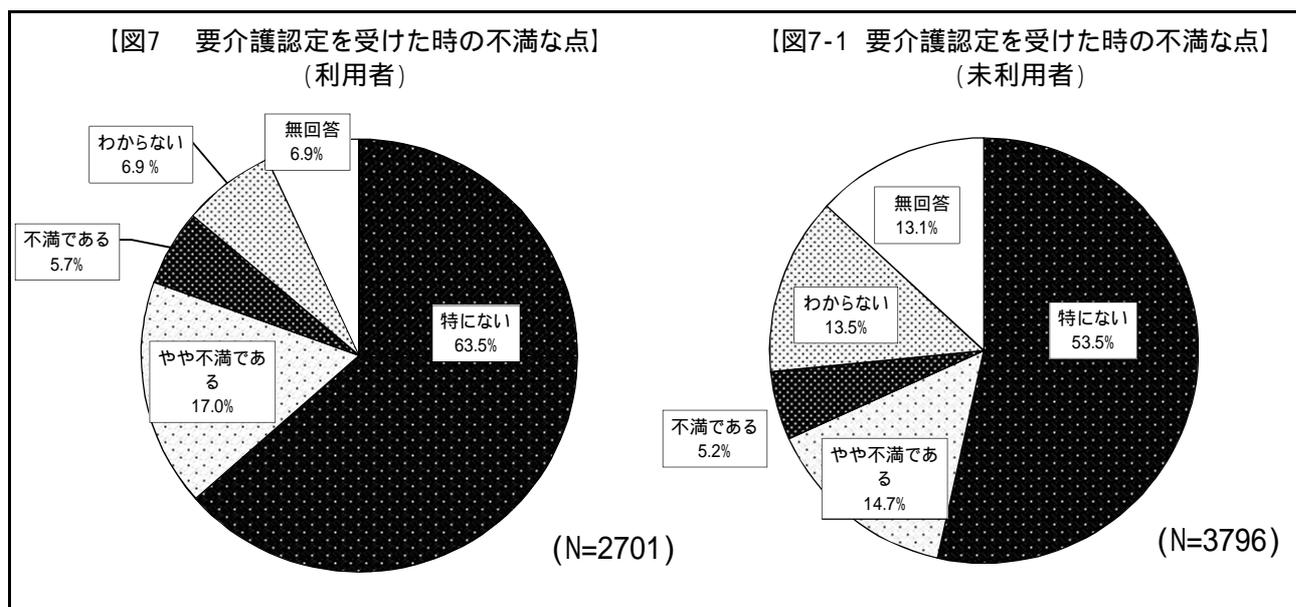
6. 要介護認定を受けた理由



【図6、図6-1】

初めて要介護認定を受けた理由については、サービス利用者では「介護保険サービスを受けるため(住宅改修・福祉用具購入のみの利用をのぞく)」が54.3%で最も多くなっており、サービス未利用者では「念のために認定だけ受けた」が31.6%で最も多くなっている。

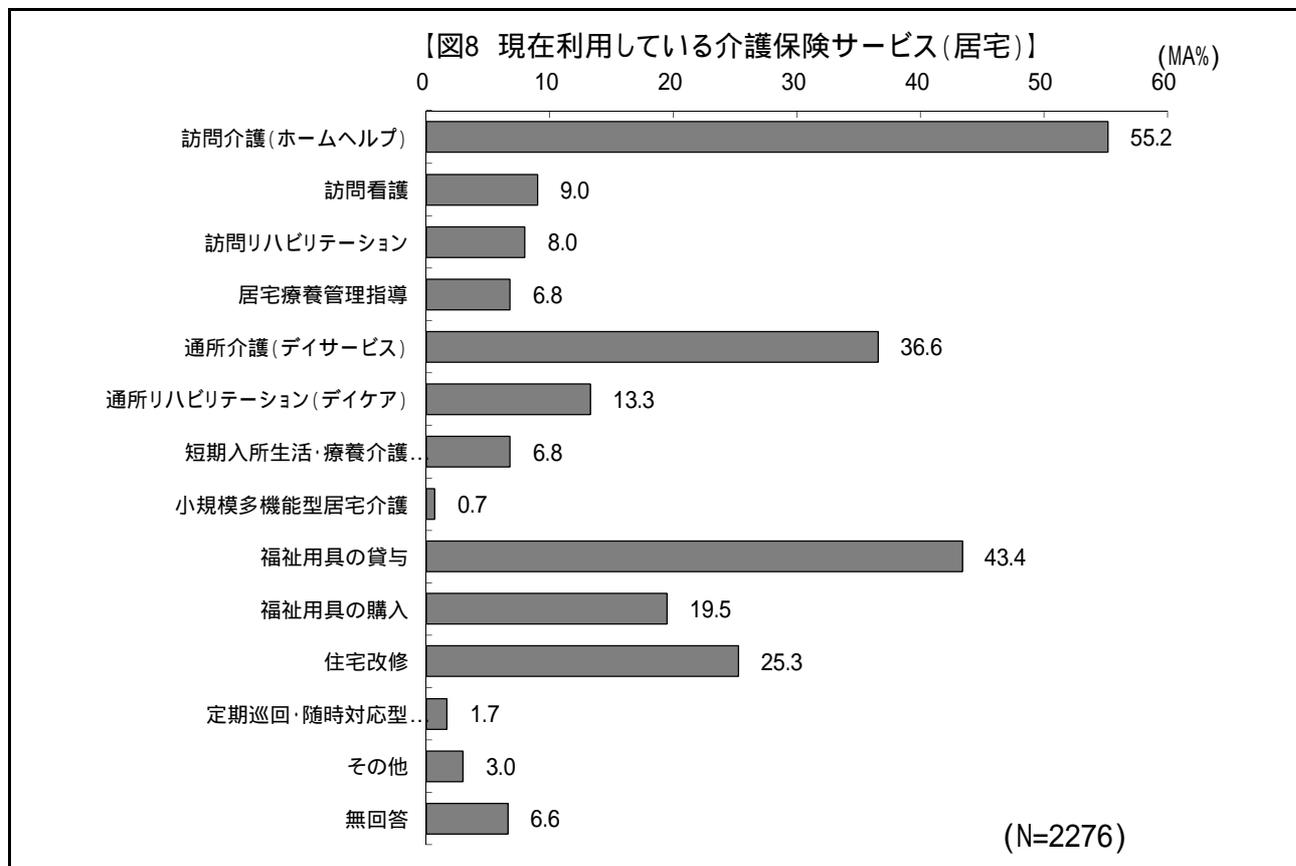
7. 要介護認定満足度



【図7、図7-1】

要介護認定を受けた時の不満な点については、サービス利用者、サービス未利用者とも「特にない」が最も多い。

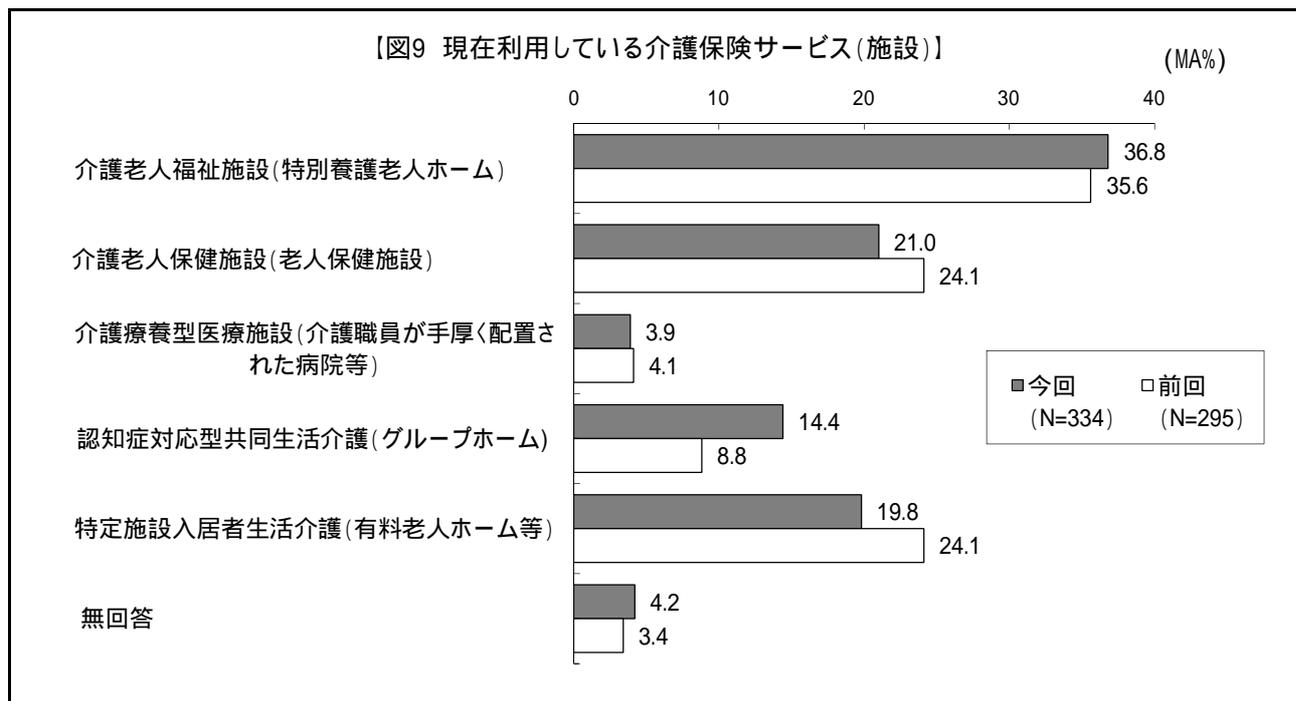
8. 現在利用している介護保険サービス(居宅) サービス利用者のみ



【図8】

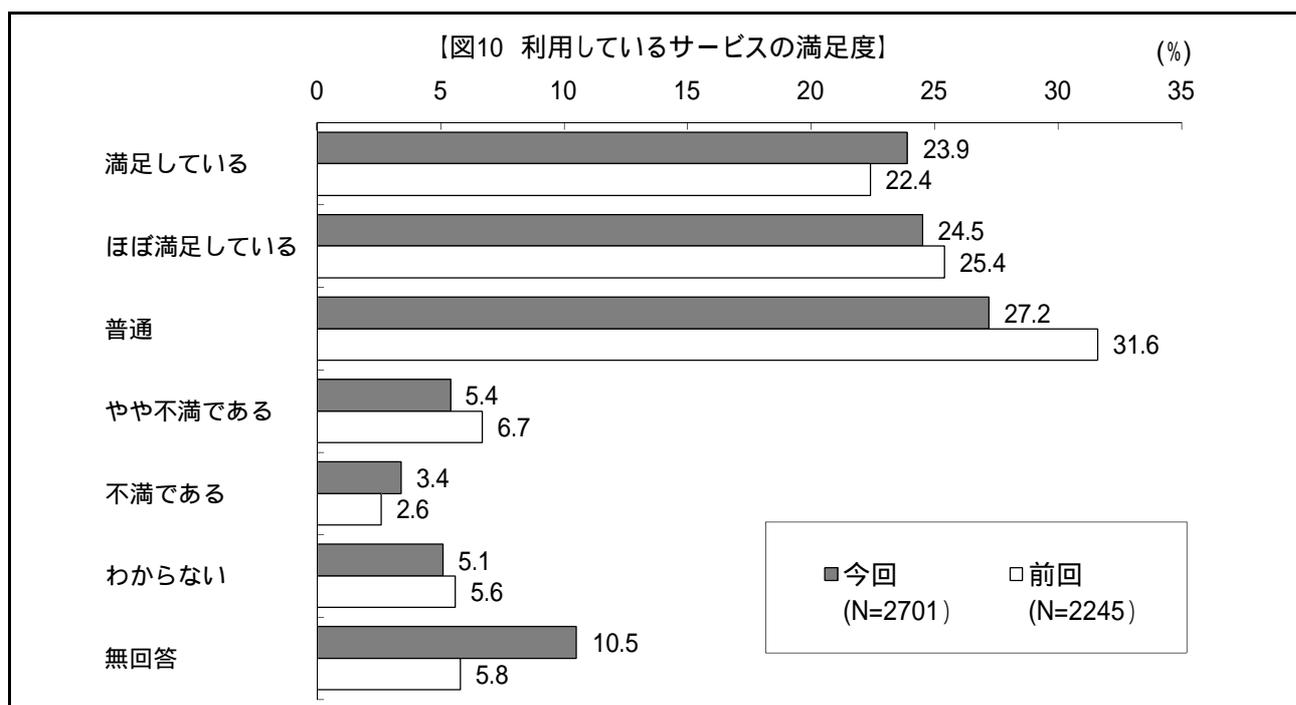
現在利用している介護保険サービス(居宅)では、「訪問介護(ホームヘルプ)」が55.2%で最も多くなっており、次いで、「福祉用具の貸与」、「通所介護(デイサービス)」の順となっている。

9. 現在利用している介護保険サービス(施設) サービス利用者のみ



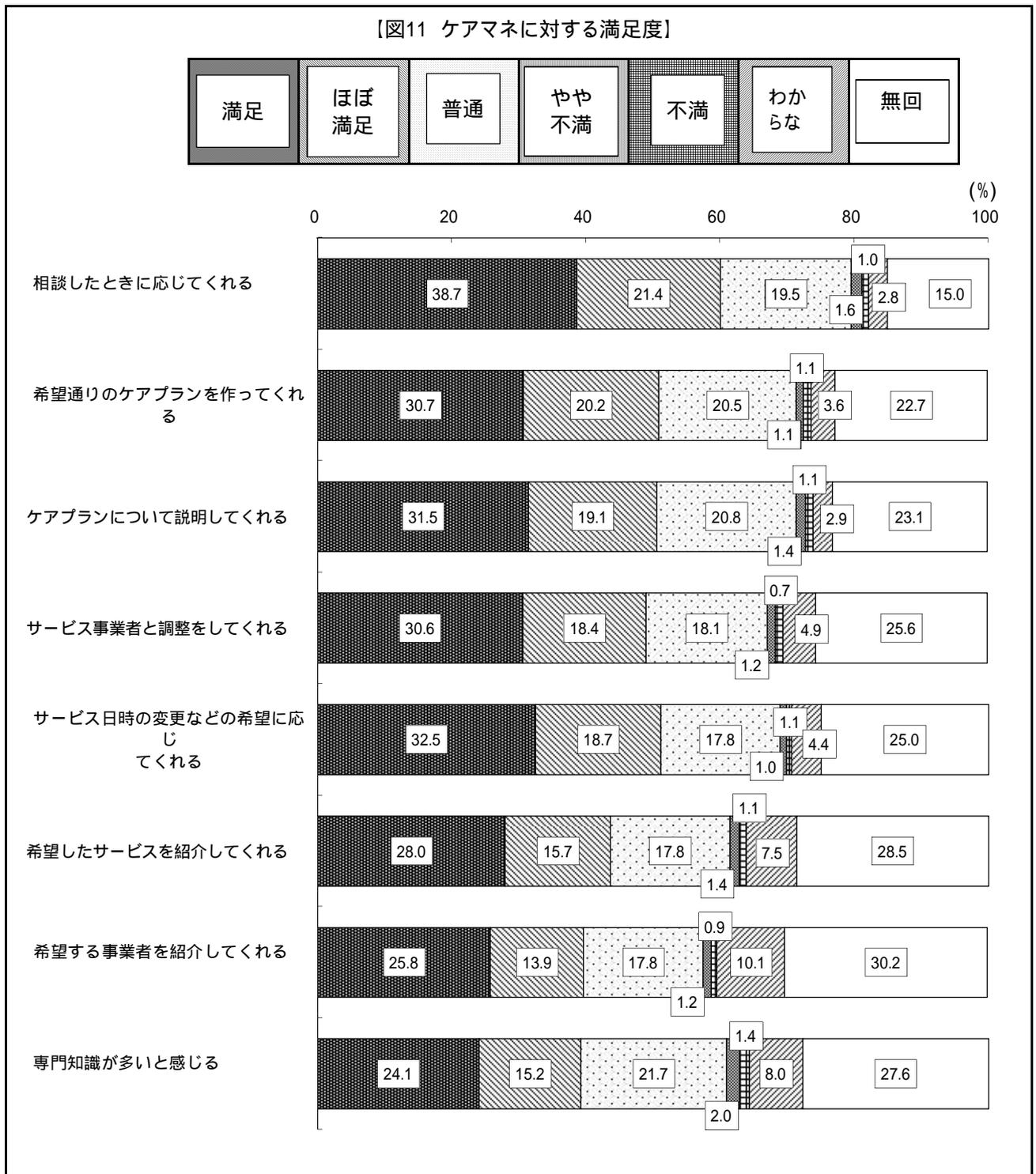
【図9】
現在利用している介護保険サービス(施設)については、「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」が36.8%と最も多く、次いで、「介護老人保健施設(老人保健施設)」が21.0%となっている。
前回調査との比較では、「認知症対応型共同生活介護(グループホーム)」が5.6ポイント高くなっている。

10. 現在利用している介護保険サービスの満足度 サービス利用者のみ



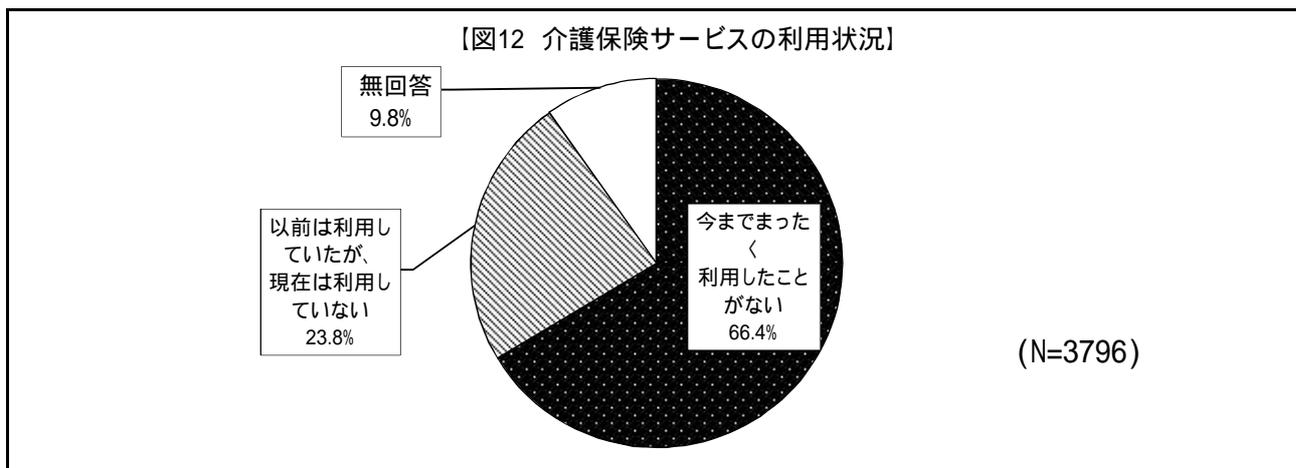
【図10】
介護保険サービスの満足度については、「普通」が27.2%と最も多く、次いで、「ほぼ満足している」が24.5%となっている。前回調査と比較すると、「満足している」が1.5ポイント高くなっている。

11. 介護支援専門員(ケアマネジャー)に対する満足度 サービス利用者のみ



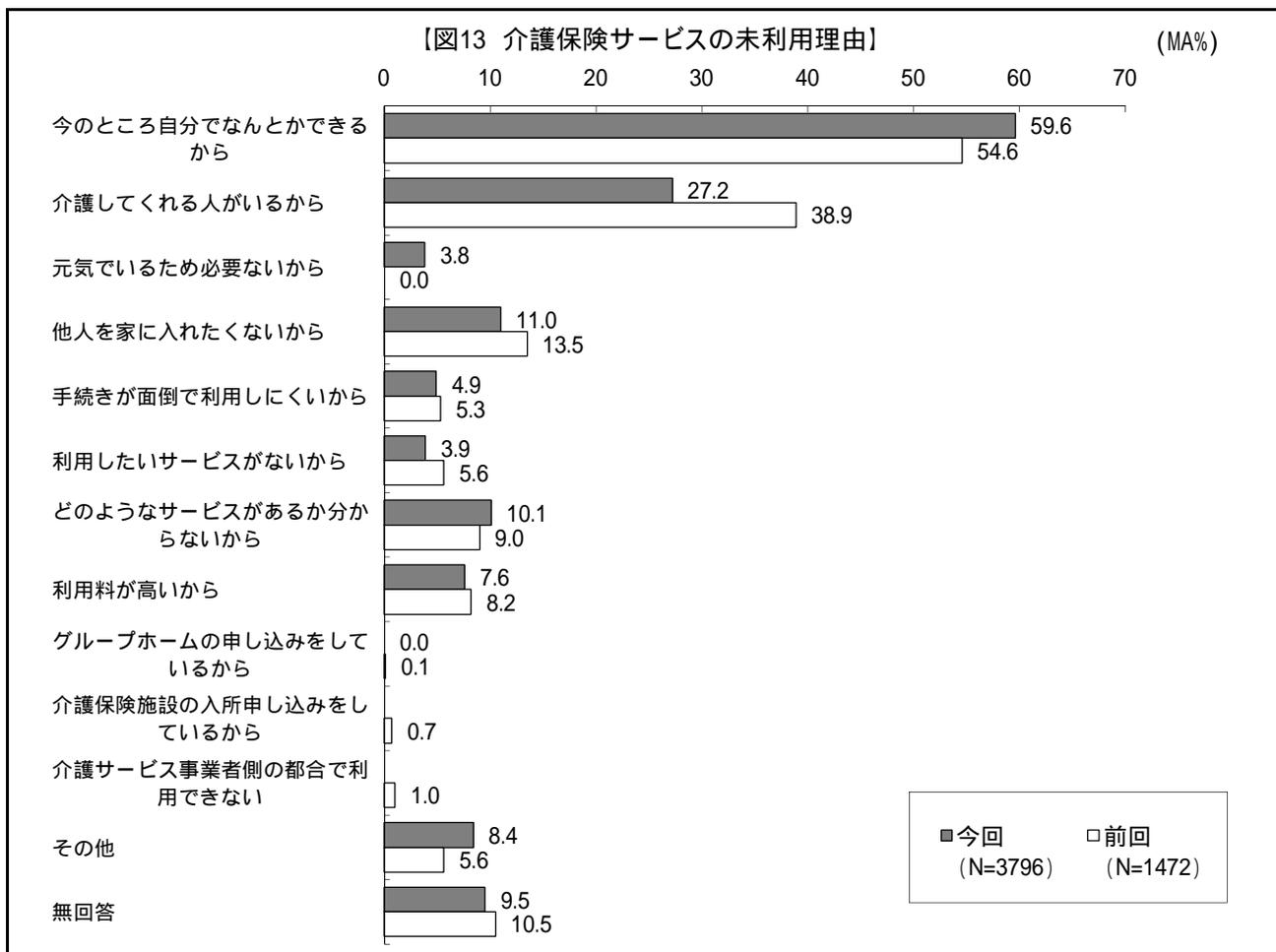
【図11】 ケア・マネジャーに対する満足度については、各項目について「満足」「ほぼ満足」で約5割を占めている。

12. 介護保険サービスの利用状況 サービス未利用者のみ



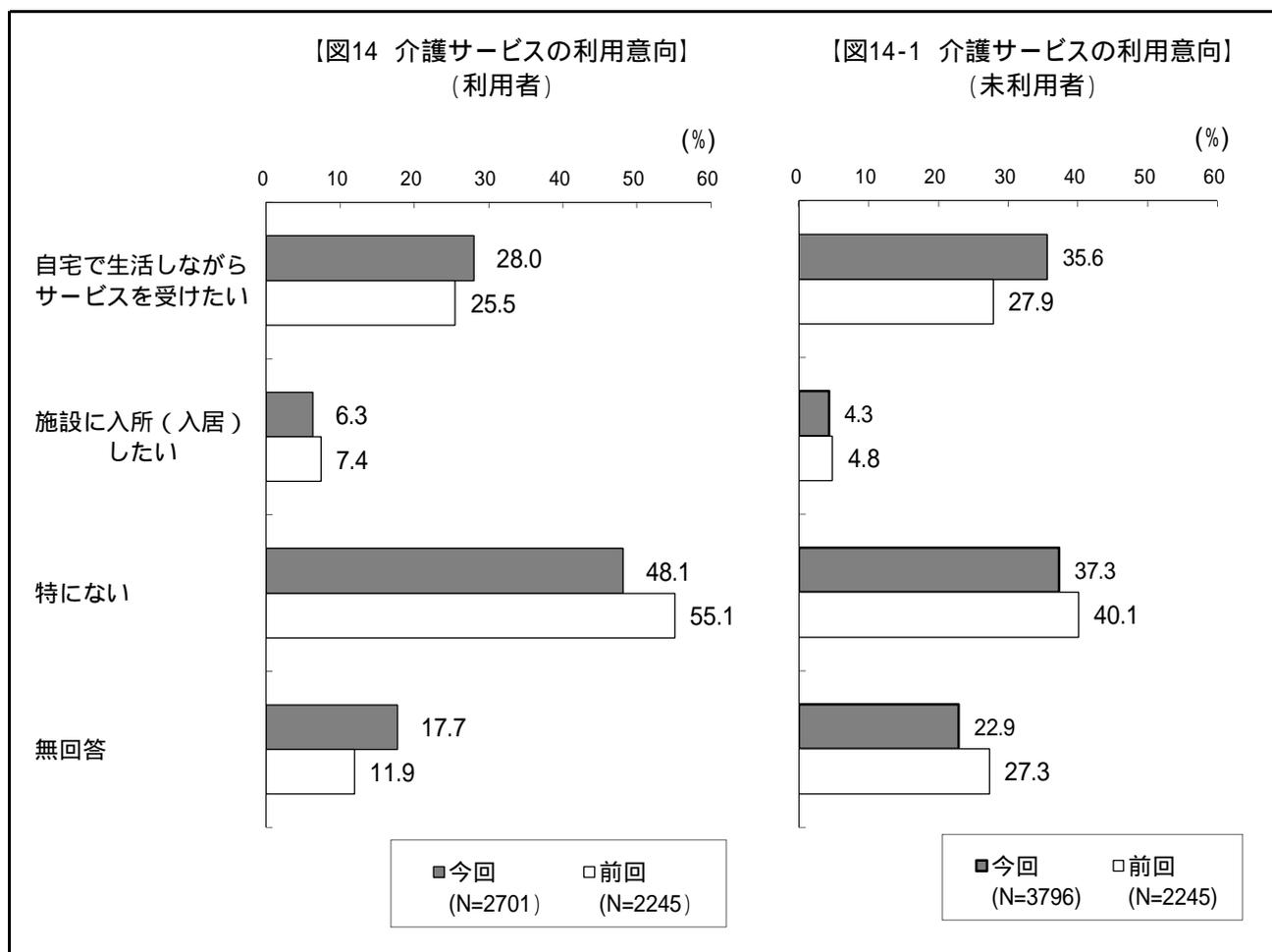
【図12】 介護保険サービスの未利用者の介護保険サービスの利用状況については、「今までまったく利用したことがない」が66.4%となっており、「以前は利用していたが、現在は利用していない」が23.8%となっている。

13. 介護保険サービスを利用していない理由 サービス未利用者のみ



【図13】 介護保険サービスの未利用者の未利用の理由については、「今のところ自分でなんとかできるから」が59.6%で最も多い。

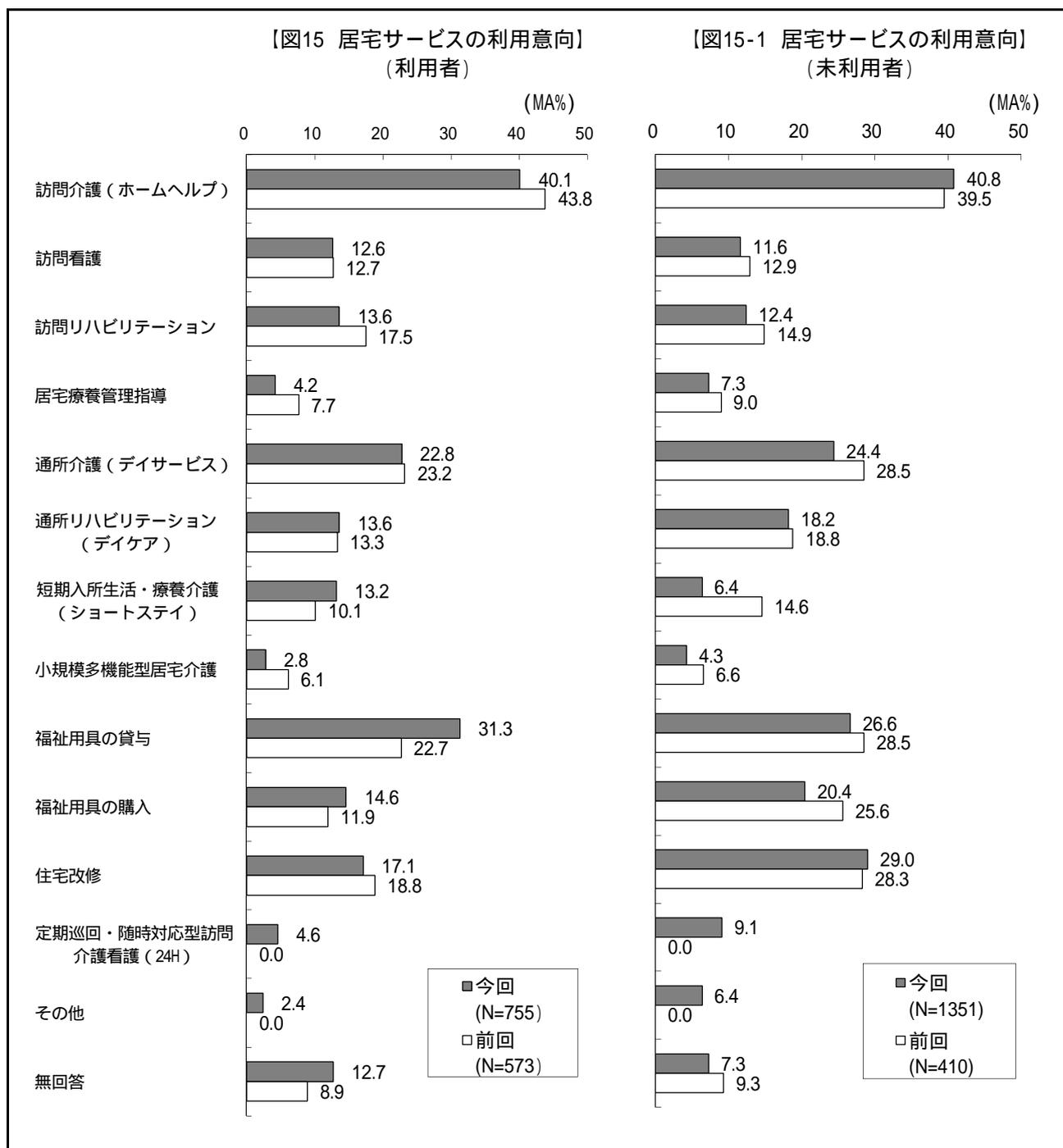
14. 1年以内に利用したい介護保険サービス



【図14】

1年以内に利用したい介護保険サービスについては、サービス利用者、サービス未利用者とも「施設に入所(入居)したい」よりも「自宅で生活しながらサービスを受けたい」の方が高くなっている。

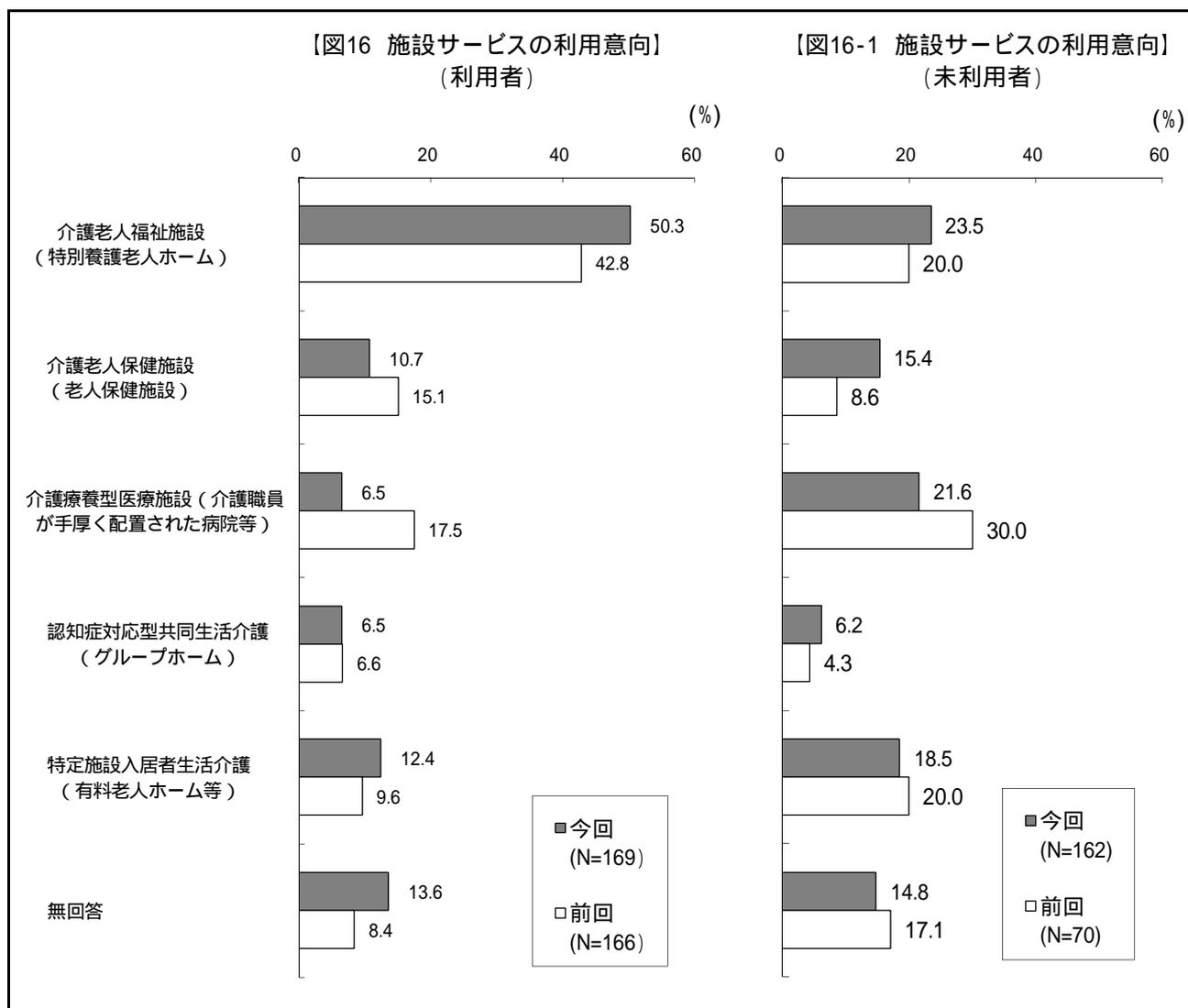
15. 1年以内に利用したい介護保険サービスの内容(居宅)



【図15】

1年以内に利用したい介護保険サービス(居宅)については、サービス利用者では、「訪問介護(ホームヘルプ)」が40.1%と最も多く、「福祉用具の貸与」が31.3%、「通所介護(デイサービス)」が22.8%となっている。サービス未利用者についても、「訪問介護(ホームヘルプ)」が40.8%、次いで、「住宅改修」が29.0%、「福祉用具の貸与」が26.6%となっている。

16. 1年以内に利用したい介護保険サービスの内容(施設)

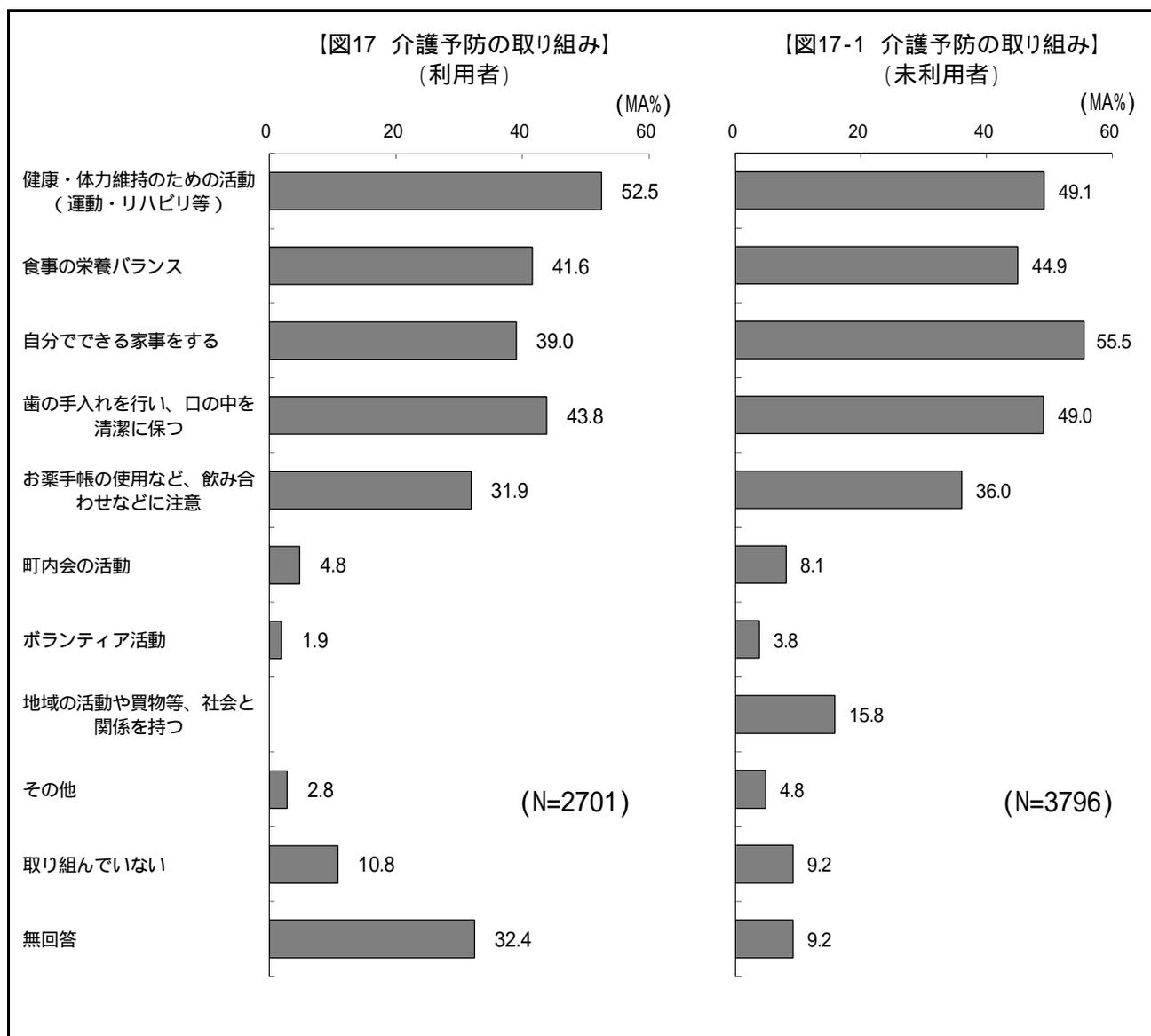


【図16】

1年以内に利用したい介護保険サービス(施設)については、サービス利用者では、「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」が50.3%で最も多く5割以上となっており、次いで、「特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム等)」が12.4%、「介護老人保健施設(老人保健施設)」が10.7%となっている。

サービス未利用者についても、介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)が23.5%と最も多いが、サービス利用者の割合と比べると回答割合は少なくなっている。次いで、「介護療養型医療施設(介護職員が手厚く配置された病院等)」が21.6%、特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム等)が18.5%となっている。

17. 介護予防の取り組み



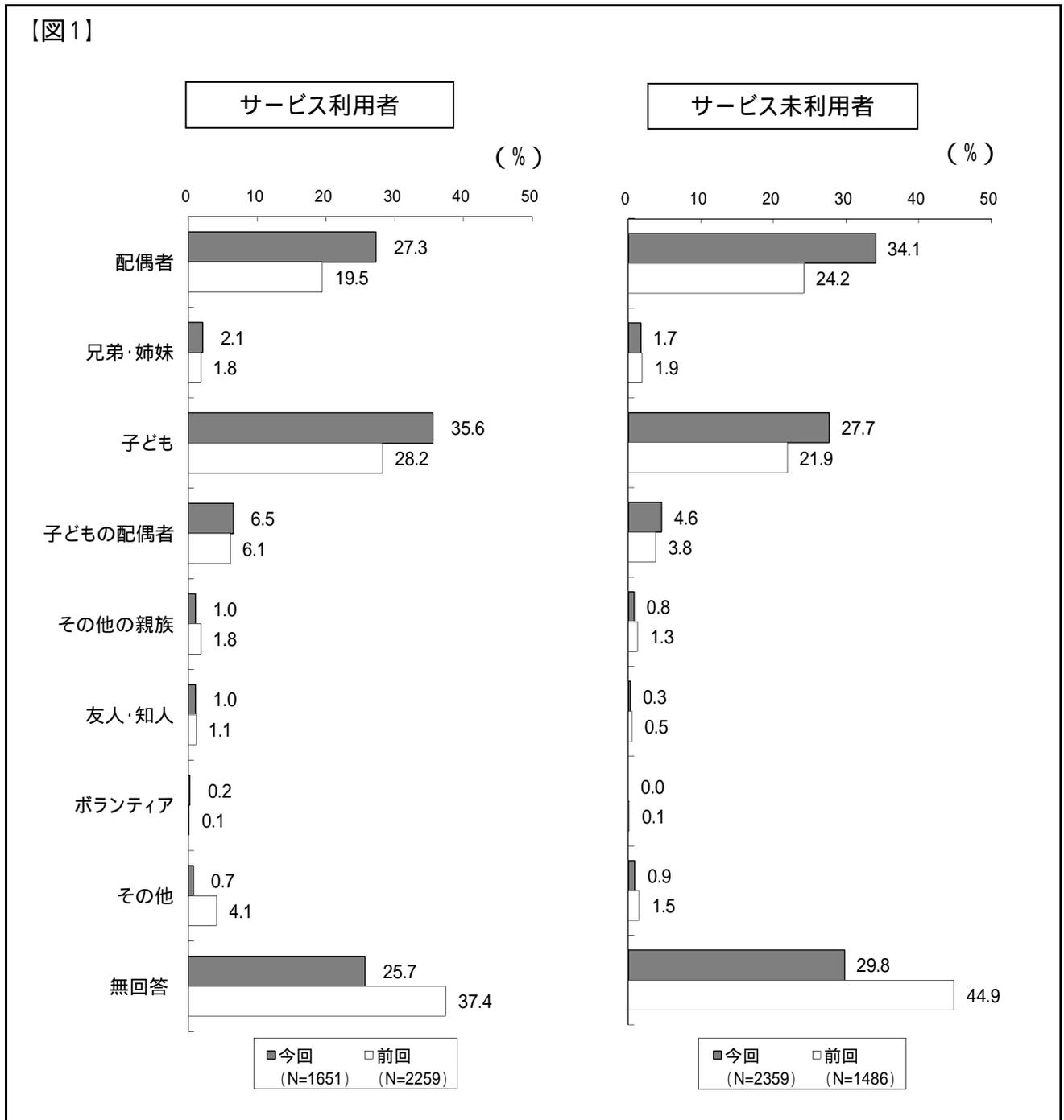
【図17】

介護予防の取り組みについては、サービス利用者では、「健康・体力維持のための活動(運動・リハビリ等)」が52.5%、次いで「歯の手入れを行い、口の中を清潔に保つ」が43.8%、「食事の栄養バランス」が41.6%となっている。

サービス未利用者の介護予防の取り組みについては、サービス利用者と異なり、「自分でできる家事をする」が55.5%と最も多くなっている。次いで、「健康・体力維持のための活動(運動・リハビリ等)」が49.1%、「歯の手入れを行い、口の中を清潔に保つ」が49.0%となっている。

5 介 護 者 調 査

1. 介護者と本人の関係

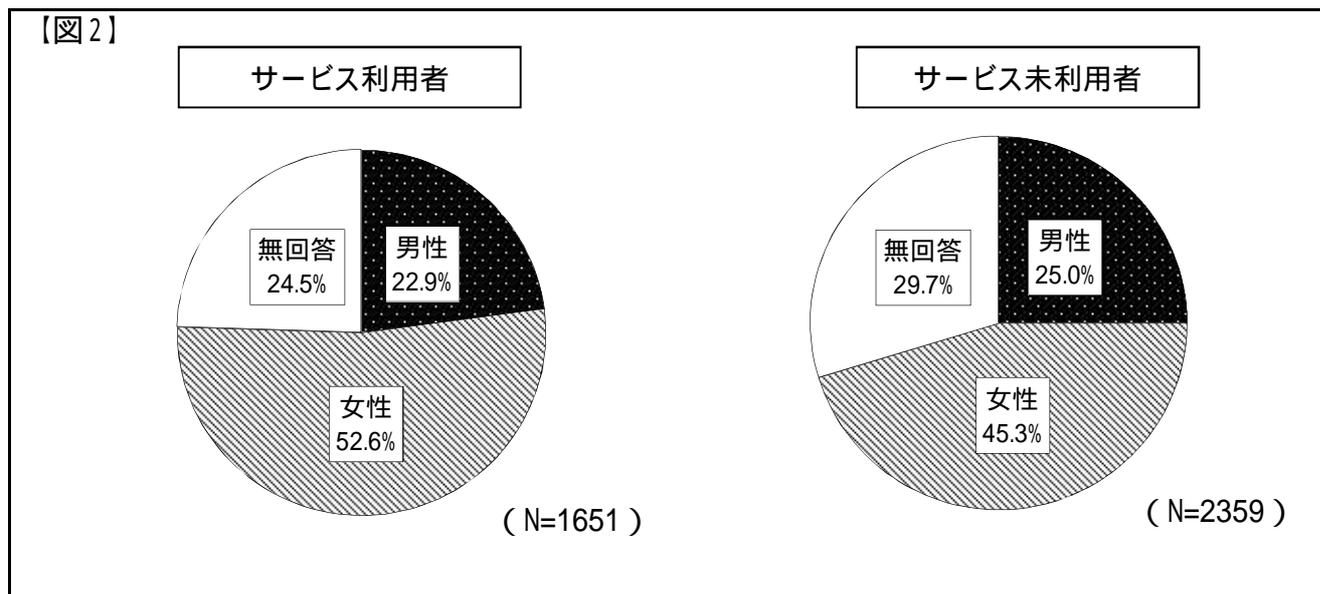


【図1】

要介護者との関係については、サービス利用者は「子ども」が35.6%と最も多く、サービス未利用者では配偶者が34.1%と最も多い。

前回に比べ、サービス利用者は「子ども」が7.4ポイント、「配偶者」が7.8ポイント増えており、サービス未利用者でも「子ども」が5.8ポイント、「配偶者」が9.9ポイント増えている。

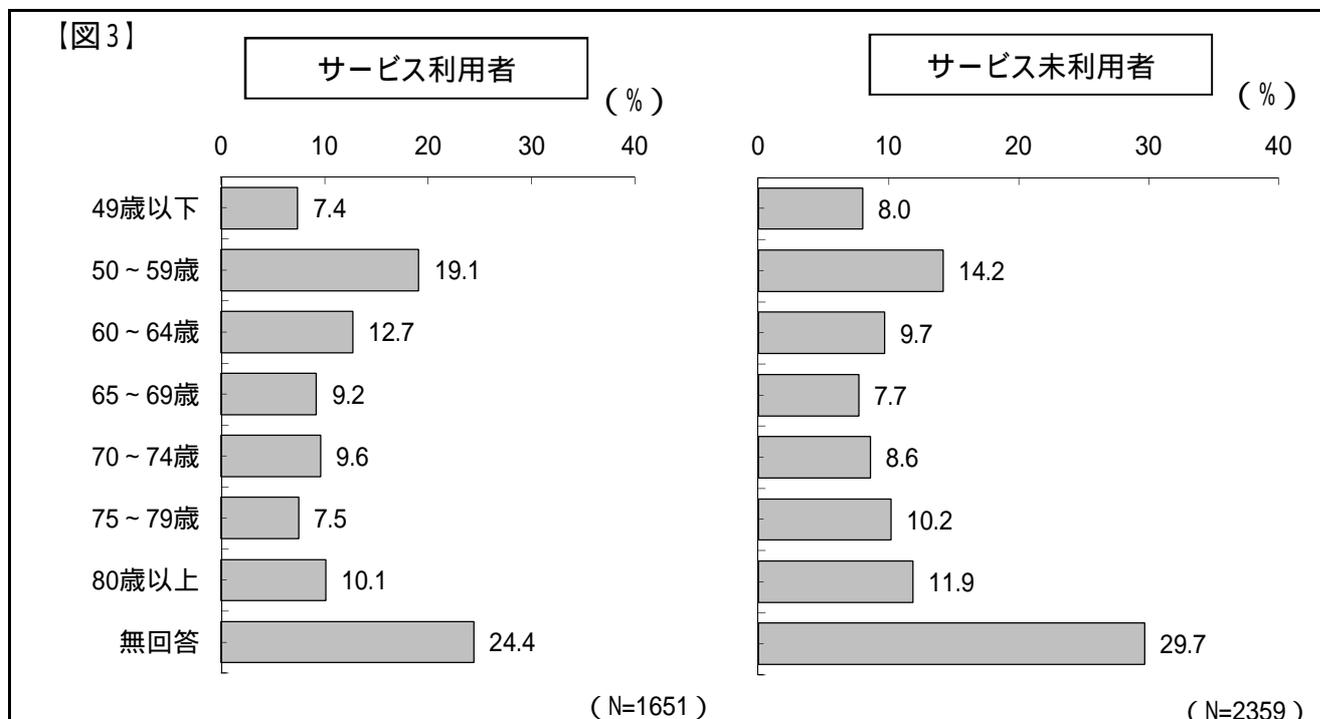
2. 介護者の性別



【図2】

主な介護者の性別については、サービス利用者では「男性」が22.9%、「女性」が52.6%、サービス未利用者では「男性」が25.0%、「女性」が45.3%と、どちらも「女性」の割合が多くなっている。

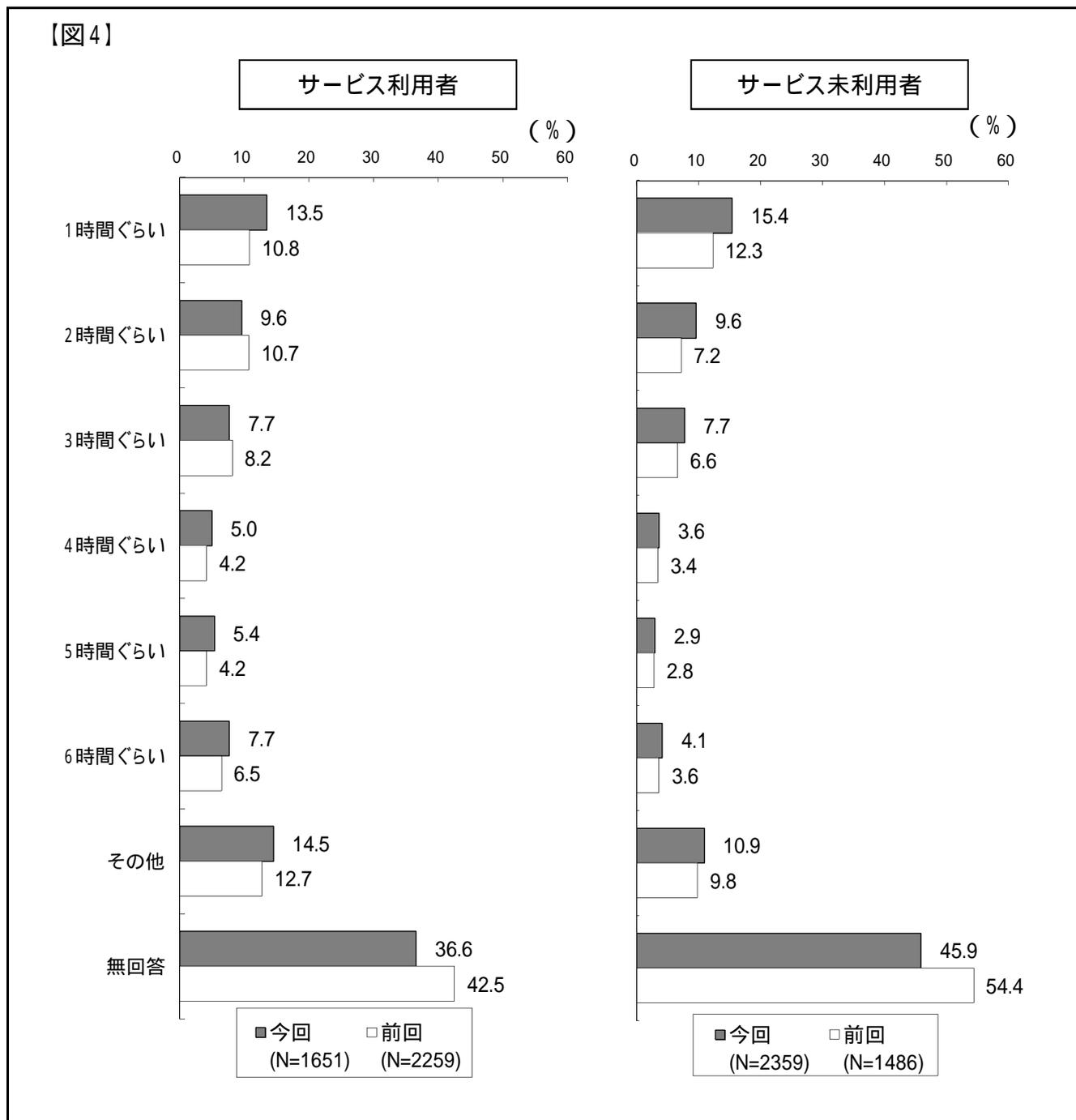
3. 介護者の年齢



【図3】

介護者の年齢については、サービス利用者では「50～59歳」が19.1%で最も多く、次いで「60～64歳」が12.7%となっている。サービス未利用者でも、「50～59歳」が14.2%と最も多くなっている。どちらも、50歳代の介護者が多くとなっている。

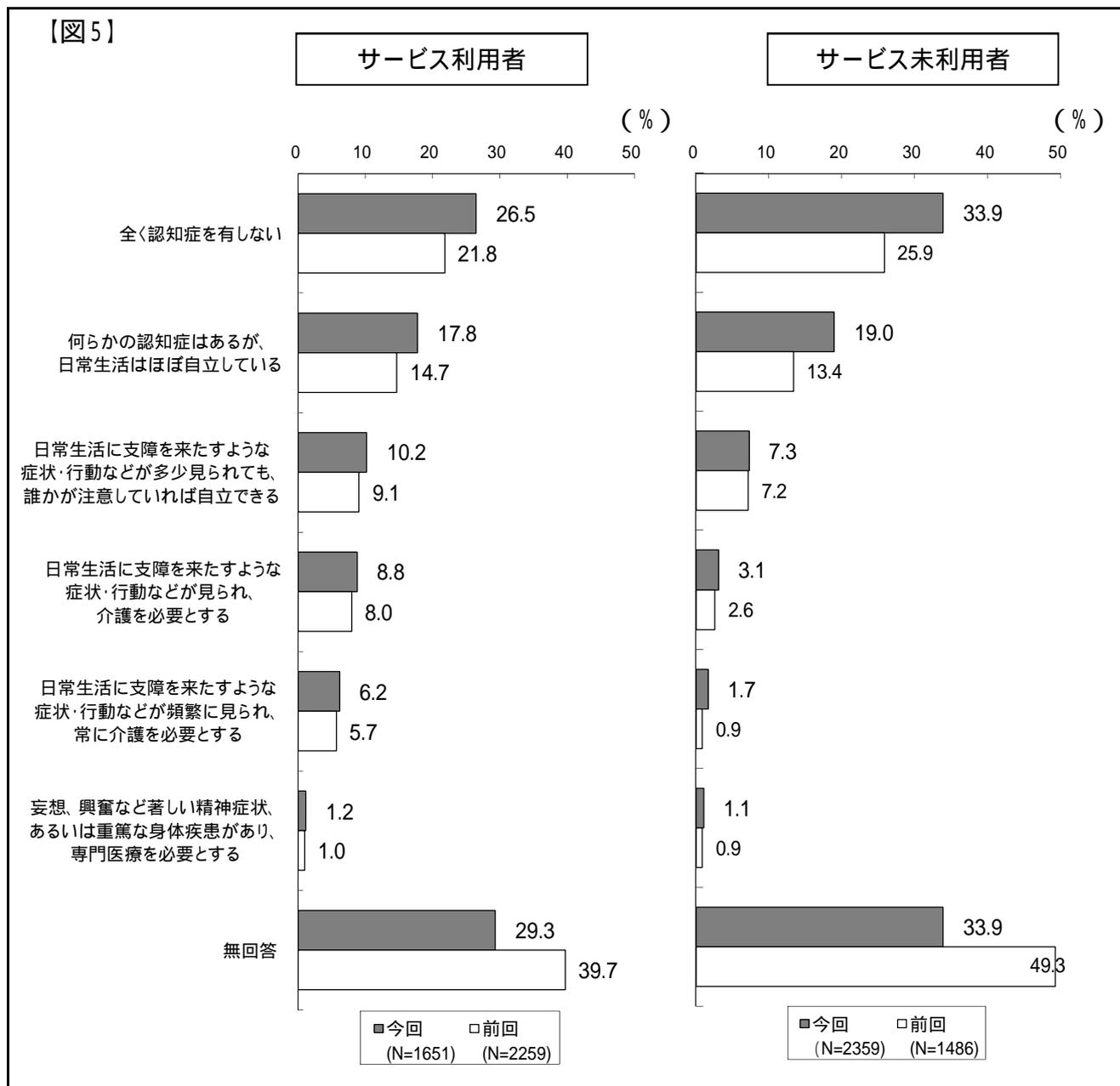
4. 介護に要する時間



【図4】

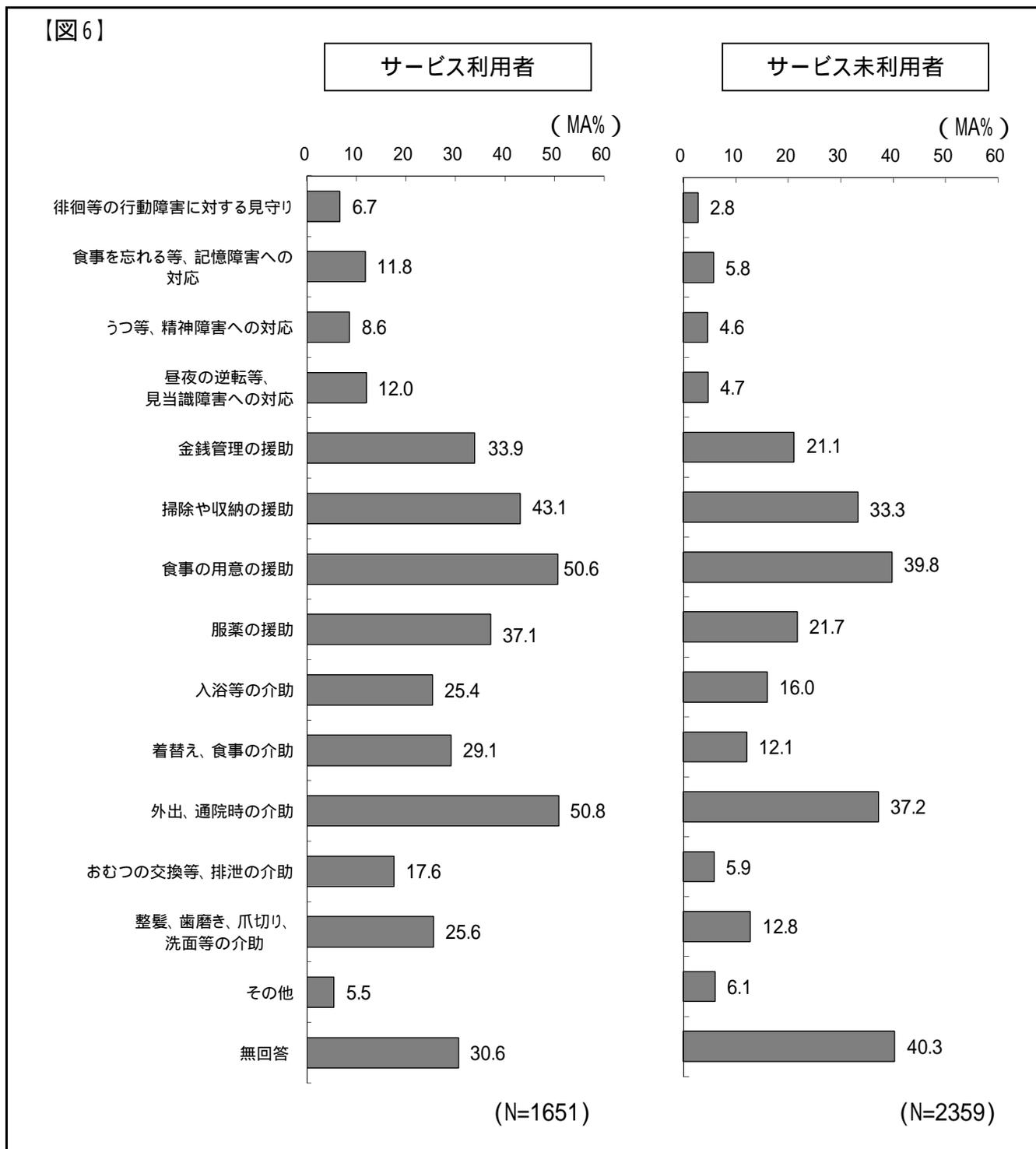
介護に要する時間については、サービス利用者は「1時間くらい」が13.5%、サービス未利用者が15.4%と最も多くなっており、次いで、「2時間くらい」が、同率で9.6%となっている。前回に比べ、サービス利用者は「2時間くらい」「3時間くらい」が若干減っているが、それ以外は全体的に介護に要する時間が増えている。

5. 本人の認知症の程度



【図5】 本人の認知症の程度については、サービス利用者・未利用者とも「全く認知症を有しない」が26.5%、33.9%と最も多く、次いで「なんらかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している」となっている。

6. 介護の内容

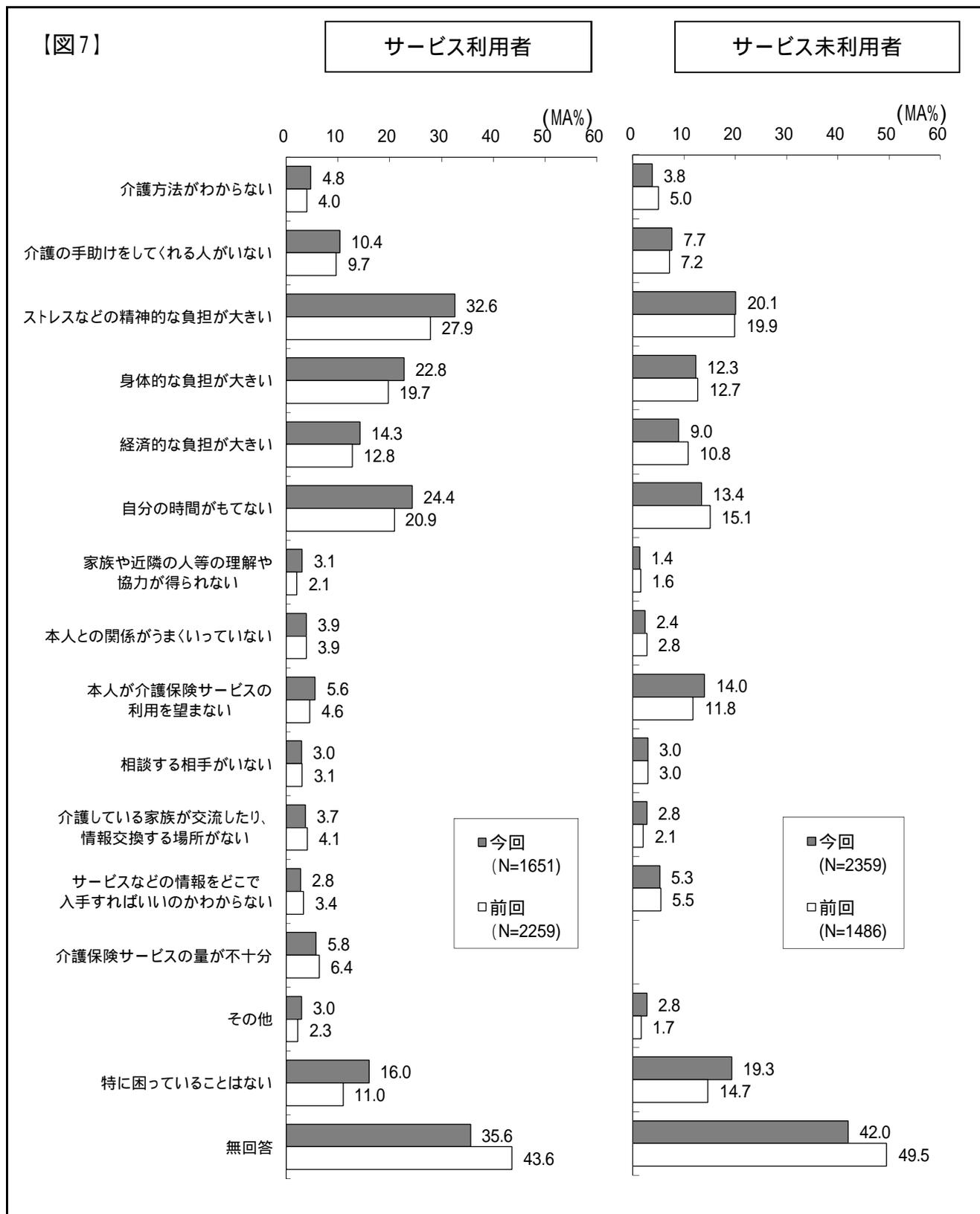


【図6】

本人へどのような介護を行っているかについては、サービス利用者は「外出、通院時の介助」が50.8%と最も多く、次いで「食事の用意の援助」が50.6%となっている。

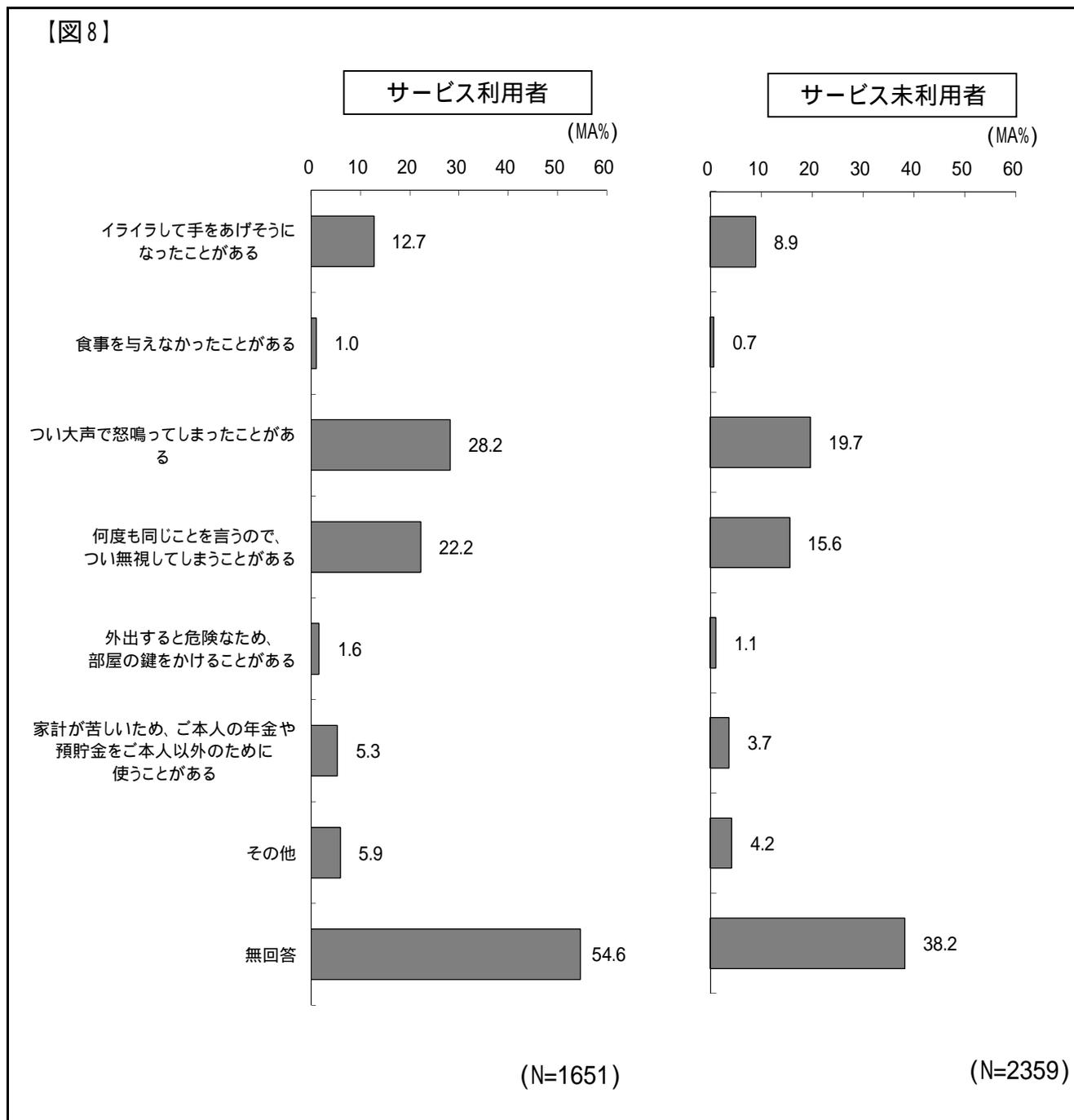
サービス未利用者では、「食事の用意の援助」が39.8%と最も多く、次いで「外出、通院時の介助」が37.2%となっている。

7. 介護の上で困っていること



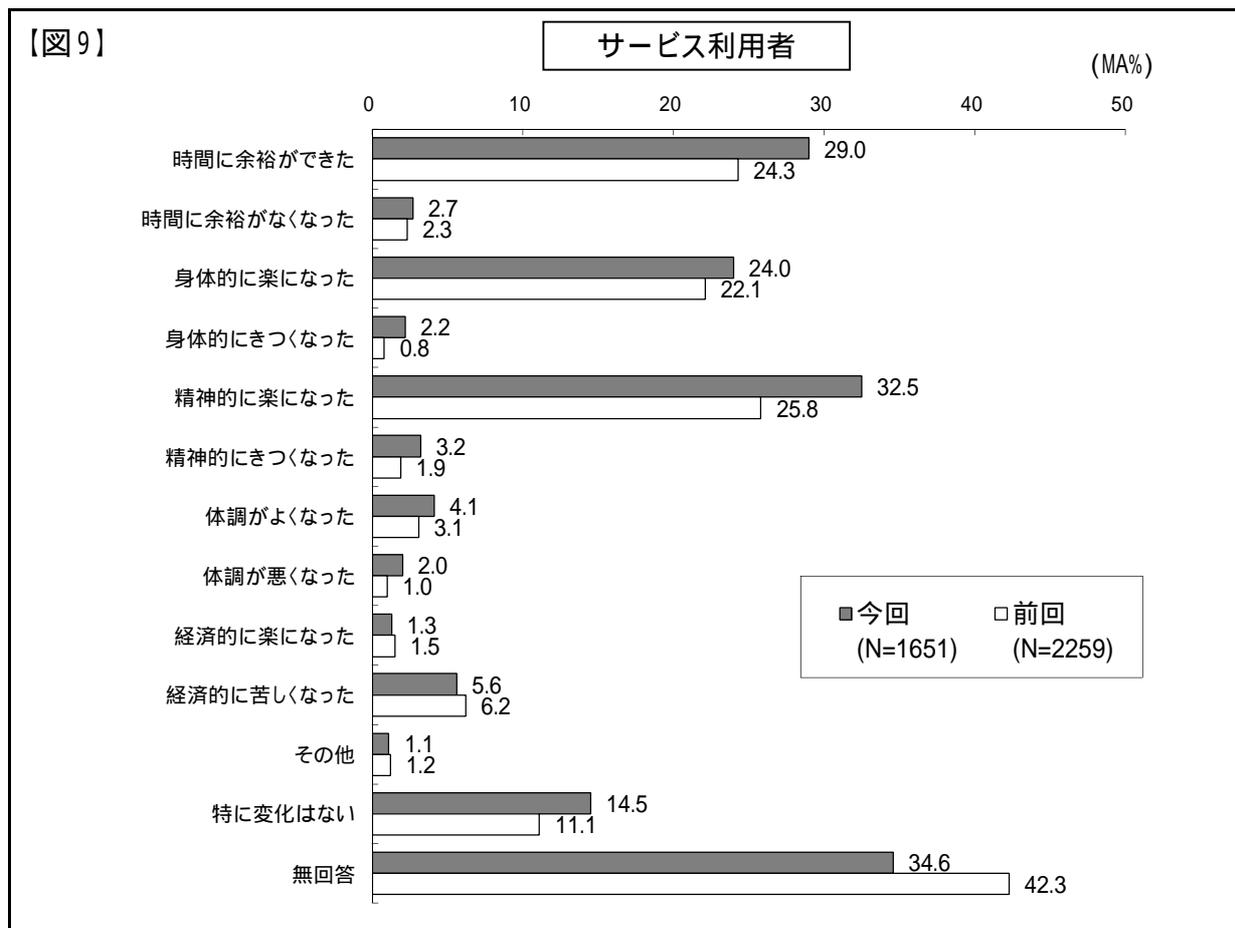
【図7】 介護を行っている上で困っていることについては、サービス利用者・未利用者ともに「ストレスなどの精神的な負担が大きい」が最も多く、次いでサービス利用者では「自分の時間がもてない」、サービス未利用者では「特に困っていることはない」となっている。前回と比べ、サービス利用者は「精神的な負担・身体的な負担・経済的な負担」が増えており、サービス未利用者は前回と同様が減っている。

8 . 介護を行ううえで、なったことがある状態



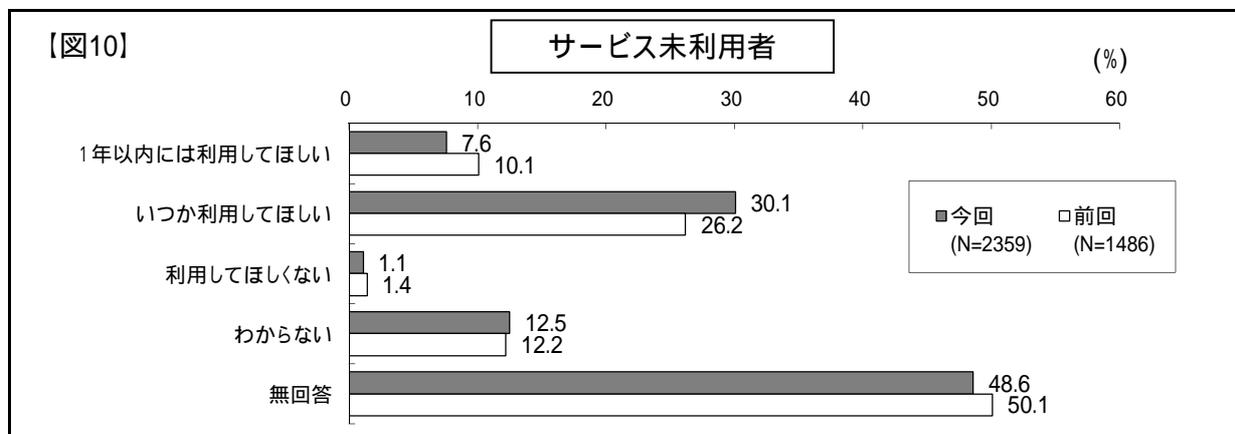
【図8】 介護者が介護を行ううえでなったことがある状態については、サービス利用者・未利用者ともに「つい大声で怒鳴ってしまったことがある」が最も多く、ついで「何度も同じ事を言うのでつい無視してしまうことがある」となっている。

9. 介護保険サービスの利用と変化 サービス利用者のみ



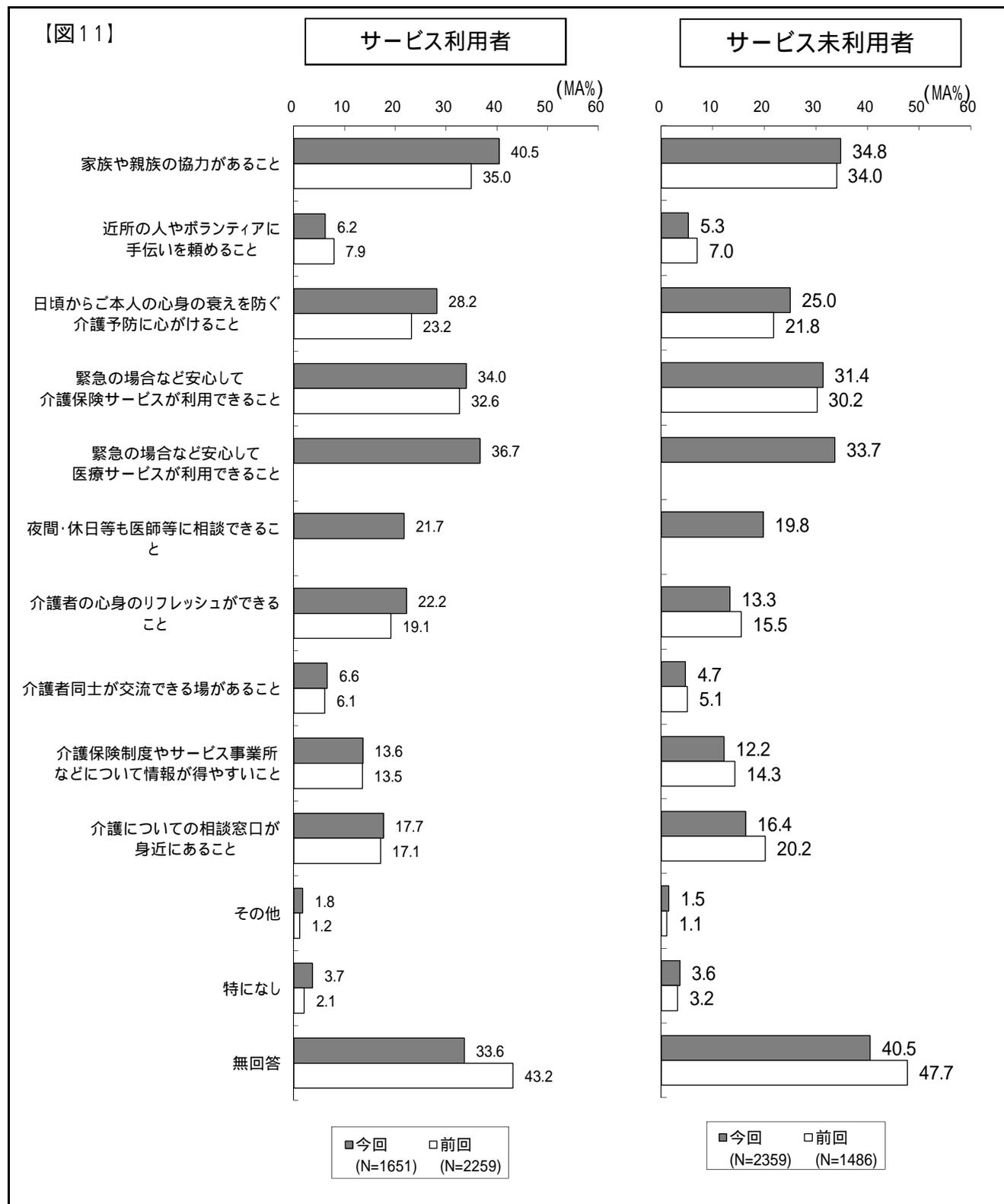
【図9】 介護保険サービスを利用することによる介護の変化については、「精神的に楽になった」が32.5%と最も多く、次いで「時間に余裕ができた」が29.0%、「身体的に楽になった」が24.0%となっている。前回に比べ、「時間に余裕ができた」「身体的に楽になった」「精神的に楽になった」「特に変化がない」が増えている。

10. 介護保険サービスの利用意向 サービス未利用者のみ



【図10】 サービス未利用者の、本人に介護保険サービスを利用してほしいかについては、「いつか利用してほしい」が30.1%と最も多くなっており、「1年以内には利用してほしい」の7.6%と合わせて、37.7%となっている。前回に比べ、「1年以内には利用してほしい」が2.5ポイント減っているが、「いつか利用してほしい」が3.9ポイント増えている。

11. 在宅介護の継続のために必要なこと



【図11】

在宅介護を続けるために必要なことについては、サービス利用者・未利用者ともに「家族や親族の協力があること」が最も多く、次いで「緊急の場合など、安心して医療サービスが利用できること」となっている。